

平成16年7月29日

財団法人岡山県産業振興財団
技術支援部 担当：林、横田
TEL.086-286-9651 FAX.086-286-9676

平成16年度「地域新生コンソーシアム研究開発事業」(経済産業省)
の採択について

財団法人岡山県産業振興財団では、経済産業省が公募していた平成16年度「地域新生コンソーシアム研究開発事業」について8件を申請しておりました。

その結果、下記の2テーマが競争倍率5倍の中、当財団を管理法人として採択されたのでお知らせします。

本事業は地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の再生を図るため、大学等の技術シーズ・知見を活用した地域における産学官の共同研究体制(地域新生コンソーシアム)を組むことにより、実用化を念頭においた高度な研究開発を2年間行い、即効性の高い地域の新規産業の創出に貢献しうる製品・サービス等を開発することを目的としています。

記

採択テーマ及び研究実施機関等

1. 採択テーマ 「ディーゼル用燃料噴射ノズルの細孔化による実用化研究開発」
管理法人 財団法人岡山県産業振興財団
実施機関 京都大学大学院、広島大学大学院、岡山大学大学院、
群馬大学地域共同研究センター、アロイ工業株式会社、
有限会社ヒロ技術研究所、池田精工株式会社、
岡山県工業技術センター
予算額(予定) 2,500万円(平成16年度)
研究開発概要 従来量産不可能であった数10 μ m以下の微細な噴射孔を有するディーゼルエンジン燃料噴射ノズルの実用化研究開発を目的とする。燃焼効率改善、粒子状物質・窒素酸化物の抑制等の問題解決に資する。
2. 採択テーマ 「大面積電子ビーム照射による表面改質金型の開発」
管理法人 財団法人岡山県産業振興財団
実施機関 岡山大学工学部、ゼノー・テック株式会社、
日立金属株式会社冶金研究所
予算額(予定) 2,500万円(平成16年度)
研究開発概要 金型製作の最終工程である鏡面仕上げは、現在熟練者によるスキルが必要である。この工程を大面積電子ビームを照射することにより、短時間で形状精度の良好な表面肌を得る技術を研究し、NC制御による金型、金属製品の表面仕上げ技術を開発する。